



平成 29 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 相模ゴム工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大跡一郎
(コード番号 5194 東証第 2 部)
問合せ先 管理本部本部長 吉田邦夫
(TEL. 046-221-2311)

営業外費用（為替差損）の計上及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）における営業外費用（為替差損）の計上について下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 29 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想と、本日公表いたしました実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間において、昨今の為替相場の変動により為替差損 3 億 14 百万円を計上していましたが、その後の為替相場の変動により、第 4 四半期連結会計期間では為替差益 1 億 59 百万円が発生しましたので、通期においては 1 億 55 百万円の為替差損を営業外費用に計上しております。

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 5,800	百万円 1,600	百万円 1,300	百万円 850	円 銭 78.23
今 回 実 績 値 (B)	5,710	1,660	1,549	1,113	102.50
増 減 額 (B-A)	△89	60	249	263	—
増 減 率 (%)	△1.5	3.8	19.2	31.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	4,850	619	534	317	29.19

差異の理由

平成 29 年 3 月期につきましては、ポリウレタン製コンドーム・サガミオリジナル 0.01 の出荷が増加し、ヘルスケア事業の販売が堅調に推移したことと、併せて為替差損の減少が付加され、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回りました。

以 上